

関西福祉科学大学 EAP研究所主催 令和6年度事業場内メンタルヘルス推進担当者養成講座

演習コース（各30名）

「職場で行動化しトラブルを起こすケース対応」について、グループワークを中心に演習形式で学びます。



10月12日(土)
13:30～17:30

自身の価値観を確信し
周囲と衝突を繰り返す事例にまつわる
メンタルヘルス問題

《概要》

自身の価値観を確信し、考え方を柔軟に変えることができないために、職場で上司・同僚と衝突する事例に焦点を当てて研修を進めます。このタイプは最終的に「自分は正しい被害者で、〇〇は誤った加害者だ」と主張し、それを認めさせようと執拗に迫るため、周囲は疲労困憊します。あるいは、承認欲求を満たされない当該者がメンタルヘルス不調に陥ります。

《講師》

岩根幹能先生（産業医・労働衛生コンサルタント）
日本製鉄株式会社関西製鉄所/
（一財）NSメディカルヘルスケアサービス副理事長



11月9日(土)
13:30～17:30

メンタルヘルス等の問題が疑われる社員への
「配慮」と「人事対応」の使い分け方
～労働法・産業保健法の観点から～

《概要》

本講座では、日ごろ労働法・産業保健法を扱う使用者側弁護士が、メンタルヘルス等の問題が疑われる社員を想定し、①「配慮」によるサポートか、②指導、懲戒、解雇といった「人事対応」によるのかについて、見極める視点と手順をお話しします。

《講師》

菰口高志先生（弁護士）
大江橋法律事務所

会場

KITENA新大阪 503号室

大阪府大阪市東淀川区東中島1丁目18番5号
（新大阪駅東口徒歩5分）



アドバンストコース （各30名）

「危機介入」の組織的アプローチについてグループワークを中心に演習形式で学びます。

2025年2月15日(土) 13:30～17:30（ZOOM開催）



「災害メンタルヘルス」から従業員の心のケアを考える
～組織はどう対応すべきか？～

《概要》

台風、地震など災害大国、日本では「災害メンタルヘルス」の観点からの心のケア理解が重要です。災害には自然災害の他にも事故・事件（人災）も含まれ、「危機介入」の組織的アプローチも不可欠です。今回は危機介入・対応の具体的事例についてのグループ討議も行いながら実践的理解を深めます。

《講師》

廣川進先生（法政大学 キャリアデザイン学部 教授）

- 参加された方には後日「受講証明書」をお送りします。
- 定員になり次第締め切らせていただきます。